

オラファー・ エリアソン

Olafur Eliasson 1967- デンマーク

空間は時間です。時間は動きです。動くためには身体が必要です。そして身体とは感覚を使うことです。ですから感覚を使うということが世界を創り出すことを意味するのです。これは毎日起こっていることです。

オラファー・エリアソン

オラファー・エリアソンは、空間、光、水、霧などの自然界の要素を用いて、人間の知覚の仕組みや認識を問い直すような作品を制作。

「パウル・シャッツへのオマージュ」(2012)は、「オロイド」の形状でつくられたランプ。「オロイド」は、哲学者、人智学の創始者、そして教育者としても知られるルドルフ・シュタイナーの「すべての自然は、時に内側になり、また時に外側になる」という思想をもとに、工学者でシュタイナーの弟子パウル・シャッツにより開発された形態。二つの直行した円を囲った立体で、水の浄化や船舶航行の動力、バイオテクノロジーの攪拌器などさまざまな分野で実際に応用されている。